



松梅タイムズ

学校教育目標 ふるさと松梅を担う心身共に調和のとれた子どもの育成

令和6年10月18日(金)発行
第12号
文責 校長 蒔谷 健

令和6年度佐賀市コミュニティスクール認定

前11号では「秋の気配が感じられる」と冒頭で書きましたが、16日(水)の昼は30℃の真夏日となりました。私は夜は蒸し暑くてなかなか寝付けず、久々に自宅寝室のエアコンを入れてしまいました。「暑い」と「少し冷える」を繰り返すと体にもよくないようで、最近は季節の変わり目に7℃以上の気温差があると、交感神経と副交感神経のバランスが乱れ「寒暖差アレルギー」という体調の変化が現れる場合があると言われています。症状として頭痛、倦怠感、鼻やのどの症状、体調の不具合などが出るそうです。私も年齢を重ねて、以前はなかったような体調の変化を感じる事が時々あります。長期の病気などにならないように気を付け、生活を節制するようにしています。

愛子様の松梅への来訪に沸いた週末でした。私は現場にはおりませんでしたが、臨場した副校長と教頭の話では、愛子様を一目見ようと訪れた県内外の方々と、早い時間から学校の駐車場もいっぱいになっていたとのことでした。当日、翌日には全国放送の報道で名尾和紙工房での手すき体験の様子が流されておりました。名尾和紙や松梅の名尾地区のことが多くの方に知られるよいきっかけになったのではないのでしょうか。今後、多くの方が工房を訪れるのではないかと考えています。(動画配信サイトでも主要放送局が番組内で流したこの日の様子が見られます。)

佐賀市新人戦の結果

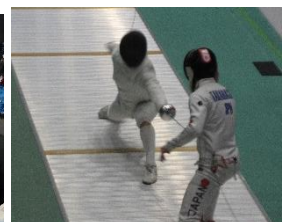
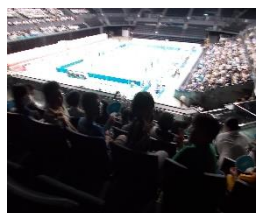
12日(土)、13日(日)に佐賀市新人戦が行われました。本校は男子バレーは思斉中、女子バレーは東与賀中、卓球(男子)は北山、三瀬との合同チームで出場しました。中学部の保護者様にはメールでもお知らせしておりましたが、結果は以下のようになりました。

男子バレー	予選を2勝で突破、決勝トーナメント(準々決勝)にて、城西中に1-2で敗戦
女子バレー	予選リーグ1勝1敗で敗退
卓球(男子)	予選リーグ1勝2敗で敗退

本校は部員数が少ないために本校単独チームでの試合出場は難しい状況となっております。(男子バレー4人、女子バレー2人、卓球男子4人、卓球女子は部員が不在)このような中でも生徒は目の前の目標に向かって、日々の練習を一生懸命に取り組んでいます。バレーボールではフォーメーションの練習やコンビプレーの練習などは他校と練習日程が合う週末に1回程度しかできません。このように実践的な練習があまりできないことが大きなハンディでもあり、思うように練習が進まず、歯がゆい思いをする原因にもなっていると思います。しかも、現在は部員数の関係で、本校が相手校に出向いて合同練習をさせてもらっているケースが多くなっています。送迎の面では、毎週のように保護者様に負担をおかけしておりますが、選手は頑張っておりますので、どうかご理解、ご協力ください。

国スポ観戦に行きました！

7日(月)に小学部、9日(水)に中学部がそれぞれ国スポのバレーとフェンシングの競技を応援に SAGA アリーナ、SAGA プラザに行きました。普段は間近に見ることのできない能力の高い選手によるスポーツの大会に触れ、そのプレーに驚いたり、感心したりすることがあったのではないのでしょうか。バスの都合で途中で帰路に着かねばならなかったのが心残りだったと思いますが、今後、生涯にわたって、スポーツをする、見るという楽しみを持ち続けてほしいものです。48年ぶりの本県での国スポ(旧国体)ですが、私は48年前の昭和51年の「若楠国体」が佐賀で行われていた時の記憶がおぼろげなが



らあります。佐賀県選手団が黄緑色のジャージ上下を着て、陸上競技場を行進している様子をニュースで見ました。当時、私はおそらく 8 歳だったのでしょうか。あれから 48 年ですか・・・次回の佐賀開催がいつになるかは分かりませんが（48 年後？）次の佐賀での国スポの開催時に児童・生徒は「子供の頃に見に行った」と思い出すのでしょうかね、次週末から全障スポも引き続き行われます。応援したいですね。

「まつうめまっぷ」完成 力作です。ぜひアクセスしてご覧ください！



中学部 3 年生が総合的な学習の時間で松梅の地元のお店や名所などを紹介する「まつうめまっぷ」を WEB で作成し、発信しています。左のような松梅中学校のホームページの下部にある「まつうめまっぷ」のバナーをクリックするか、右の QR コードをスマホのカメラで読み



込んでいただければアクセスできます。松梅の自然を写真に収めたり、各所に取材に出向いたりして記事を作成しています。そよかぜ館や名

尾和紙などにも出向いているようです。たくさんの方に見ていただけると 3 年生の生徒もきっと喜びます。お知り合いの松梅以外の方にもぜひご紹介ください。

今年のヒガンバナは白っぽい？

ヒガンバナ（彼岸花）は彼岸（秋分の日）前後の時期に咲くことから彼岸花と言われます。またその花に毒があるため、大量に食べたらあの世（彼岸）に行くということで、このように名付けられたとも言われています。昨年のこの時期の全校集会で、私はこの「彼岸花」を手に持ちながら、彼岸花にまつわる話を児童・生徒にしました。毒性があるために嫌われている面があるけれども、畑の近くに植えるとその毒を嫌う作物荒らしのネズミやモグラ、イノシシを寄せつけない効果があったり、花言葉には「情熱」というものもあったりで意外と面白い花であると話しました。そして花はすぐに枯れてしまうけど、下部に球根ができて来年の花を咲かせるために養分を蓄えているのだと続け、皆さんたちも今後の成長のために球根を作るような実りの秋にしましょうという話をしました。私は集会の後、自分が話したにもかかわらず、本当に球根になるのだろうかと思念を抱き、しばらく校長室でこの彼岸花を保管していました。やがて花は枯れ、茎も干からびましたが、立派な球根になりました。これを植えれば来年の秋には真



＜球根になった校長室のヒガンバナ＞ 赤な彼岸花が花開くのでしょうか。

今年は猛暑だったためか、いつもの赤い花が赤くなりきれず、何となく色が薄く白っぽく、そして例年よりも群生していない（量が少ない）とニュースで言われていました。何となく寂しい感じですね。松梅の彼岸花はいかがでしょうか。昨年は大量に群生していましたが、今年は白っぽく量も少ないのでしょうか。

本校小学部 1 年生の担任の〇〇教諭が 13 日（日）、佐賀市内にて、華燭の典を挙げられました。きっと 1 年生の 6 人の児童も喜んでいることでしょう。「夫婦生活とは長い会話のようなものである」ドイツの哲学者ニーチェの言葉です。（近年、我が家では短い会話となりがちですが・・・）

苦しい時も、楽しい時も、ともに支えあって、温かいご家庭を築いてください。
〇〇先生、おめでとうございます。末永くお幸せに！